

一四

14

勅授

故海軍大將南雲忠一位階追陞ノ件

宗秩寮總裁

宮内事務官

立案	昭和	年	月	日
決裁	昭和	年	月	日

爵位課長

丙
二五九四

昭和九年九月二日
裁可七月八日達
官報報告済
臺帳記入月

辞令九月五日

宮内省

裏面白紙

143



故海軍大將南雲忠一 位階追陞ノ件
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十九年九月二日

内閣總理大臣小磯國昭



内閣

令海後第六二六號

起 昭和十九年八月 日
案 昭十九年九月二日 施行
決定 昭和 年 月 日

内閣總理大臣



内閣書記官長

[Handwritten signature]

内閣書記官長



故海軍大將南雲忠一少階追陞ノ件

例 辭令案 文

七月八日付

内閣

裏面白紙

敘正三位昭和十九年七月八日死亡故海軍大將從三位南雲忠一

明治四十三年一月十五日任海軍少尉以來在職十年以上

右文武官敘位進階内則第四條ニ依リ

謹テ奏ス

昭和十九年八月三十日

海軍大臣 米内光政



海

軍

海秘人第一八二六號

昭和十九年八月三十日

海軍大臣 米内光政

内閣總理大臣小磯國昭殿

官報
不登載

故海軍大將南雲忠一ハ多年軍職ニ在リテ克ク其ノ
任務ヲ盡シ功績顯著ノ者ニ候處中部太平洋
方面ニ於テ七月八日戰死候ニ付テハ特ニ位一級
被追陞度別紙上奏書進達ス

海軍

(終)

丙
三
四

故海軍大將從三位南雲忠一

特旨ヲ以テ位一級追陞セララル

昭和十九年九月五日

從三位南雲忠一

敍正三位

昭和十九年七月八日

右之通 宣下相成候條此旨及傳達候位記竝辭
令ハ追テ可及回送候也

昭和十九年九月五日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

海軍大臣

官内省

裏面白紙

丙 發第三八號

一故海軍大將正三位南雲忠一

右位記竝辭令及回送候條交付方御取計有之度候也

昭和十九年九月五日

宗秩寮總裁子爵 武者小路公共

 海軍大臣

二號野紙

裏面白紙

宮内省

149